

「調査書」の記入について

日本文理高等学校

(1) 「受験番号」の欄

本校において記入する。

(2) 「生徒氏名」の欄

生徒指導要録どおりに生徒の氏名を記入する。

(3) 「性別」の欄

男又は女と記入する。

(4) 「生年月日」の欄

生年月日の元号が昭和の場合は、平成を＝線で消して、昭和と書き改めること。

(5) 「卒業年月」の欄

卒業又は卒業見込の年月を記入する。なお、卒業の元号が平成又は昭和の場合は、令和を＝線で消して、平成又は昭和と書き改めること。「卒業 卒業見込」については、該当するものだけを記入する。

(6) 「各教科の学習の記録」の欄

- 「第3学年の観点別学習状況」は、3年における観点別学習状況の評価を記入する
- 「評定」の1、2年の欄には、指導要録の各教科の5段階評定をそのまま転記する。
3年の成績は、調査書作成時までのものを絶対評価による5段階評価で記入する。
※の欄には記入しないこと。
- 不登校や特別支援学級等への在籍や外国の学校からの編入学等により、評定の欄に転記することができない場合は、評定欄に斜線を引き、☆欄にその理由を記載する。
その場合、副申書(様式自由)を添付することができる。

(7) 「行動の記録」の欄

項目ごとに行動の状況を評定し、該当欄に○印を記入する。

(8) 「出欠の記録」の欄

令和7年度卒業見込の生徒の3年の欠席日数は、令和7年12月末日現在の日数とする。なお、「欠席の主な理由」は、各学年において欠席日数が10日以上のものについて記入し、記入事項のない場合は斜線を引く。

(9) 「特別活動の記録」の欄

主な事実の記録を具体的に記入する。記入事項のない場合は、斜線を引く。

(10) 「総合的な学習の時間の記録」の欄

取組の内容（テーマ等）と取組状況を簡潔に記入する。

(11) 「総合所見」の欄

生徒の成長の状況を総合的にとらえるため、以下の事項を参考として、特記すべきことを箇条書き等により端的に記述する。

- 各教科等に関する所見
- 特別活動に関する所見
- 行動に関する所見
- 生徒の特徴・特技、部活動、学校内外におけるボランティア活動などの社会奉仕体験活動、表彰を受けた行為や活動

(12) 「校長氏名」の欄

調査書作成年月日、学校名、校長氏名を記入し、職印を押印する。

(13) 「記載者氏名」の欄

記載者氏名を記入する。

(14) 令和元年度(令和2年3月卒業)以前の卒業生の調査書について

「各教科の学習の記録」、「総合的な学習の時間の記録」、「特別活動等の記録」、「行動の記録」、「出欠の記録」及び「総合所見」の欄には、斜線を引き、☆欄に「指導要録の指導に関する記録の保存期間を経過しているため、これに関する項目を記入することができない」旨を記入すること。